

(15) 大学評価委員会**① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

大学評価委員会は、本法人の組織・運営の状況及び教育研究活動等の状況について自己点検及び評価等を行うことを目的として設置されている。

イ 組織の構成及び構成員等

大学評価委員会は、評価担当の副学長を委員長として、学校教育実践研究センター長、各学系及び専攻から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）、学長が指名した附属学校長、事務局長及びその他学長が指名した者若干人で組織されており、令和4年度は計11人の構成とした。

② 運営・活動の状況**ア 委員会等の開催状況**

令和4年度においては、以下のとおり3回開催した。

- ・ 第107回 令和4年4月26日（火）
- ・ 第108回 令和5年12月12日（月）
- ・ 第109回 令和5年3月3日（金）

イ 審議された主な事項

令和4年度は、主に以下の事項について審議した。

- i) 第3期中期目標期間（6年目終了時）に係る業務の実績に関する報告書
- ii) 第4期中期目標期間中の各種評価に係る対応スケジュール
- iii) 第4期中期目標期間の業務実績に係る自己点検・評価の実施計画
- iv) 令和3年度組織及び教員の自己点検・評価の結果
- v) 第4期中期目標・中期計画に係る令和5年度年次計画
- vi) 令和5年度組織及び教員の自己点検・評価の実施計画

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

令和4年度は、上述「イ 審議された主な事項」に記載のとおり、主に以下の事項を中心に取り組みを行った。

- ①第3期中期目標期間（6年目終了時）に係る業務実績報告書の策定
- ②第4期中期目標期間中の各種評価に係る対応スケジュールの策定
- ③第4期中期目標期間の業務実績に係る自己点検・評価の実施計画の策定 など

③ 優れた点及び今後の検討課題等

令和4年度は、第4期開始年度であり、上述のとおり、期間中の各種評価に係る対応スケジュールの策定及び業務実績に係る自己点検・評価の実施計画の策定を行うなど、第4期中期計画に係る進捗の計画的な管理と情報の共有等のための体制を構築した。

なお、第3期中期目標期間（6年目終了時）に係る業務の実績に関する評価結果として、「大学院専門職学位課程における学生定員の未充足があったことから、改善に向けた取組が求められる。」旨の改善事項が示されており、引き続き定員充足に向けた取組を行う必要がある。